数理解析研究所講究録880

数値計算アルゴリズム の現状と展望

禁带出期間

6. 8. 10 — 8. 17

数研図書室

京都大学数理解析研究所 1994年7月

RIMS Kokywroku 880

The State of the Art of Scientific

Computing and Its Prospect

July, 1994

Research Institute for Mathematical Sciences

Kyoto University, Kyoto Japan



数値計算アルゴリズムの現状と展望 研究集会報告集

1993年10月25日~10月27日 研究代表者 山本哲朗 (Tetsuro Yamamoto)

目次

1	Wavelets and Acoustical Signal Analysis	_ 1
1.	日本 I B M・東京基礎研 小林 メイ (Mei Kobayashi)	
	日本IBM・東京基礎研 阪本 正治 (Masaharu Sakamoto)	
2.	Biarc Spline Interpolation	- 10
	鹿児島大・理 酒井 宦 (Manabu Sakai) 無限区間における補間についての考察	
3.		- 19
	東京大・工 緒方 秀教 (Hidenori Ogata)	
		. :
4.	収束の加速法	- 28
	長崎総合科学大 長田 直樹 (Naoki Osada)	
5	非対称行列の積型反復解法をめぐって	- 44
٠.	名古屋大・工 張 紹良 (Shao-Liang Zhang)	• •
	計算流体力学研 藤野 清次 (Seiji Fujino)	
	al 异価体刀子切	г о
6.	オペレータ係数法について	- 53
	慶応大・理工 野寺 隆 (Nodera Takashi)	
7.	非対称係数連立一次方程式に対する反復解法の概観	- 59
	岡山理大・理 仁木 滉(Hiroshi Niki)	
	岡山理大・理 河野 敏行 (Toshiyuki Kohno) 順正短大 薄井 正孝 (Masataka Usui)	
	順正短大	
8.	周期境界値問題に対する特異および特異に近い差分行列のSOR法	- 68
	大阪女子大 石原 和夫 (Kazuo Ishihara)	
	大阪女子大 山本 慎 (Makoto Yamamoto)	
۵	大気モデルにおける数値計算法	7.0
<i>3</i> .	気象庁数値予報課 露木 義 (Tadashi Tsuyuki)	7.0
4.0		
10.	数値等角写像のための Symm と Hough & Papamichael の定式化の比較	- 78
	愛媛大・工 天野 要(Kaname Amano)	
11.	差分スキームの再考によるベクトル計算機向き不完全LU分解について	- 86
	計算流体力学研 藤野 清次 (Seiji Fujino)	
	花王 竹内 敏己 (Toshimi Takeuchi)	
12.	差分スキームの構成法の再考―非線形偏微分方程式の安定な数値計算	- 96
	東京大・工 降旗 大介 (Daisuke Furihata)	
	東京大・工 森 正武 (Masatake Mori)	
13	非線形楕円型境界値問題の不安定解に対する有限要素近似	105
	学習院大·理 水谷 明 (Mizutani Akira)	
	于自究人:生 八分 YI NIIXULANI AKITA)	

14.	重調和ディリクレ問題に対する数値-数式ハイブリッド法	
	(LISPによる偏微分方程式の数値一般解の構成法)	112
	城西大・理 天野 一男 (Kazuo Amano)	•
15.	Eigenvalue problems arising from two-component flow	120
	京都大・理 幡谷 泰史 (Yasushi Hataya)	
	京都大・理 西田 孝明 (Takaaki Nishida)	
	京都大・理 - 寺本 恵昭 (Yoshiaki Teramoto)	
16.	非凸領域における楕円型方程式の解の数値的検証法	127
	九州大・理 山本 野人 (Nobito Yamamoto)	
	九州大・理 中尾 充宏 (Mitsuhiro Nakao)	
17.	区間解析を用いた非線形常微分方程式に対する	
	境界値問題の解の存在の数値的検証法	134
	早稲田大・理工 大石 進一 (Shin'ichi Oishi)	
18.	常微分方程式の大きなシステムに対する補外法の有効性	150
	山口大・大学院工学 スプリヨノ (Supriyono)	
19.	Variable Coefficient Explicit Runge-Kutta Methods	159
	鹿児島大・理 中島 正治 (Masaharu Nakashima)	
20.	多変数関数を一変数関数の和で表現するアルゴリズム	167
	群馬大・工 山村 清隆 (Kiyotaka Yamamura)	
21.	強単調な非線形方程式に対するホモトピー法の事前評価	176
	中央大・理工 牧野 光則 (Mitsunori Makino)	
22.	汎用超並列計算機の上での大規模数値計算 	
		185
	山形大・教育 中村 純 (Atsushi Nakamura)	
23.	準線形固有値問題の反復解法について	193
	岡山理科大・理 澤見 英男 (Hideo Sawami)	
	岡山理科大・理 仁木 滉(Hiroshi Niki)	
24.	A modification of Gauss-Newton method for nonlinear least squares	
	problems	202
	東京理科大・工 矢部 博 (Hiroshi Yabe)	
	システム計画研究所 八巻 直一 (Naokazu Yamaki)	
 25.	準Newton法を使用した主双対内点法の局所的収束の速さについて	211
1.	東京理科大・工 矢部 博 (Hiroshi Yabe)	
	数理システム 山下 浩 (Hiroshi Yamashita)	
26.	Padé展開は本当に有用なのか	220
	電気理信入・情報上 浜田 槵槓(Hozumi Hamada)	